

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	高等学校	コード	担当課	教育総務課・学校教育課
		03-01-03	電話	64-1802

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	片上高等学校は、多様なニーズ・目的をもった生徒が入学していることから、生徒の特性に応じたきめ細やかな教育を行うため、ソフト・ハード両面での教育環境の整備を図る。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	片上高等学校は東備地域唯一の夜間定時制高校であり、勤労青年の他、多様な志望動機をもつ生徒が市内外から入学してきており、入学者も増加傾向にあることから、市民ニーズは高い。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	片上高等学校が従来から担ってきた「勤労青少年に対して高等学校教育の機会を与える」という役割は徐々に薄れてきている。平成17年度入学者数は過去25年間で最高であり、近年その数は増加傾向にある。多様なニーズをもつ生徒を受け入れていることから、学校に人的・物的支援を行うことで、生徒一人一人に応じた一層きめ細やかで多様な教育内容を提供するとともに、そうした支援ができる環境を整備する必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校づくりの推進 個に応じた教育の充実 ・ ・ ・ ・ ・ 	

⑥ 施策構成事務事業の評価		担当課長評価			
施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費		
1 定時制高等学校管理運営事業 (13,775)	C	定時制高等学校管理運営事業	4,062		A
2 定時制高等学校教育振興事業 (10,780)	C	電算機借上事業	0		C
		教材備品整備事業	93		A
		図書整備事業	52		B
3 高等学校災害復旧事業 (1,845)	B	全国大会出場補助事業	115		B
		高等学校災害復旧事業	78		-
4 定時制高等学校運営支援事業 (2,290)	B	備前市高等学校教育研究部補助金	20		B
		岡山県高等学校教育研究会負担金	17		C
		全国定通校長会会費	6		C
		県高等学校定時制通信制教頭協会費	10		C
		全国教頭会会費	5		C
		県教頭会会費	2		C
		教科書給与費補助金	305		A
		岡山県高等学校体育連盟負担金	21		B
		定時制高等学校部活動補助金	20		B
		定時制高等学校運営事業	72		A
		県高等学校定時制通信制教育振興会負担金	65		B
全国定時制通信制高等学校長会定通部会費	3		B		
全国高等学校給食協議会運営補助金	1		B		

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17		
	33,637		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧ 施策の評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	項目	一次評価		二次評価
		評価	判断理由	評価
1 目的達成度	4	入学希望者が増えており、定員充足率は上昇している。	3	施策の目的と実際の入学者のニーズにぶれが出てきているのではないかと
2 事業構成の適当性	3	教育内容充実のために、研修等にかかわる事業に工夫が必要である。	3	上記のとおりぶれがある中で、適当であるかどうか不明
3 施策の有効性	3	夜間定時制高校としての役割を果たし、ニーズに対応した事業展開ができています。	3	市で行う施策かどうかという問題があり不明
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		教育内容とともに、教材備品の充実等、学習環境を充実させ、学習の機会を提供していく必要がある。また、教員の資質向上にかかわる研修等の事業を計画的に推進し、生徒の学校に対する満足度を高めていきたい。		勤労学生だけでなく、多様な志望動機を持つ生徒が市内外から入学している現状を踏まえ、市立高等学校として存続させていくべきか、根本の議論が必要である
担当部長コメント		当面は、生徒の学校に対する満足度を高めていく。一方、市立高等学校としての存続の有無を、根本から議論する必要がある。		

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
特色ある学校づくりの推進	定員充足率	1
個に応じた教育の充実	入学生徒数に対する課程を修了した生徒数の割合	2

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 定員充足率	目標	60.0		60	65	在籍生徒数/定員数×100
	実績	62.5				
	達成率%	104.2				
参考1 入学生徒数に対する課程を修了した生徒数の割合	目標	90.0		90	95	卒業時人数/入学時人数×100
	実績	80.0				
	達成率%	88.9				
参考2	目標					
	実績					
	達成率%	#DIV/0!				
参考3	目標					
	実績					
	達成率%	#DIV/0!				

市民意識 調査結果	施策名 学校教育	調査年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
	重要だと思っている市民の割合	%	20.8			
	満足している市民の割合	%	11.9			